

イベント情報・取材案内

立命館アジア太平洋大学
2017年10月2日 配信 APUリリース 2017-26

難民のことを知ってもらいたい！ APUボランティアサークルが難民写真展開催 10月9日～13日 APUコンベンションホールにて

なんみん写真展@APU -難民という生き方-

開催期日・時間： 2017年10月9日(月) - 10月13日(金) 12:00 - 18:00
開催場所： 立命館アジア太平洋大学 コンベンションホール(A棟2階)
入場料： 無料
主催及びお問い合わせ先：
立命館アジア太平洋大学 ボランティアサークル「Peace x Piece」
代表 浅野凧咲
Email: nagias16@apu.ac.jp / Facebook: Peace x Piece
後援： 別府市役所/別府市教育委員会

主催団体「Peace x Piece」からメッセージ

みなさんは難民についてご存知でしょうか？

難民とは戦争や政治的理由で他国に逃れた人達です。

私達はこの難民写真展を通して、多くの方に難民について知ってもらい、難民に対して意見や感想を持っていただくことを目的としています。たとえそれが肯定的・否定的であれ、難民に対して何かしらの考えを持つことで、日本の難民問題の進展になると考えます。

今回の写真展は、国際経営学部上原優子准教授の協力の下、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日事務所、アムネスティ・インターナショナル日本、難民支援協会に写真提供をしていただき、80枚の写真を展示します。

近年、グローバル化が進むことでこの難民問題は国際社会において非常に重要な課題となっています。しかし、日本において難民問題は他国と比べ理解が進んでいないという現状があります。私達は、グローバル化が進む日本において、そういう現状を変えていきたいと考えています。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

ボランティアサークル「Peace x Piece」

2009年に設立。現在20名(国内学生19名、国際学生1名)が在籍。NGOドイツ国際平和村(世界で治療援助やドイツで平和教育活動を実施)を支援。主に街頭での募金活動や写真展、大分市のイベントなどでの啓発活動に加え、年に一度ドイツ国際平和村を訪問し、現地の子どもたちとゲームを通して交流などを行っています。